

「見える」安全活動コンクール（説明資料）

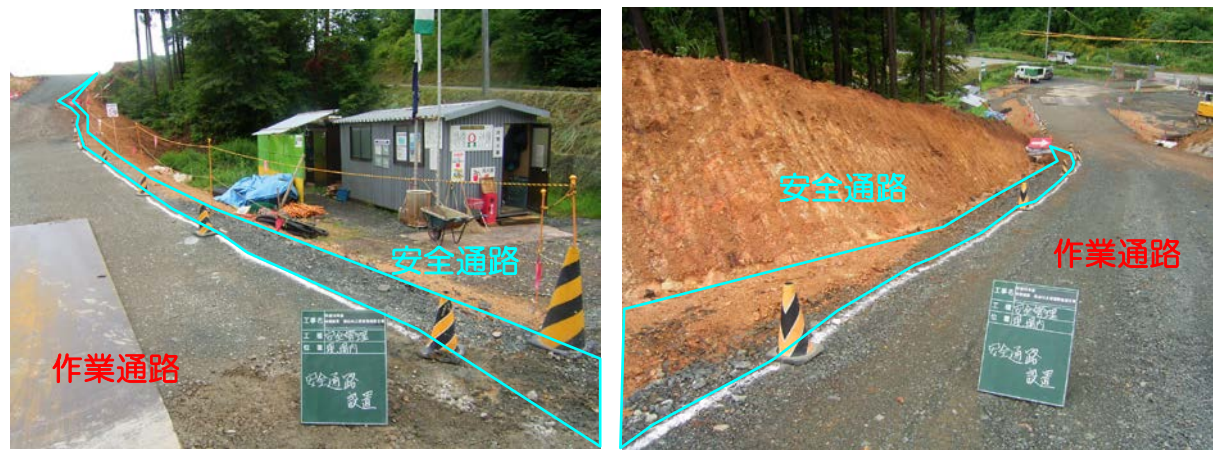
内 容 | 安全施設（「見える」安全通路・作業用通路の明確化）

（説明）
当現場は土工事が主で、掘削・運搬の作業条件により現場が変動しその都度安全設備を移動・設置しなければならなかったため、容易に移動・設置が出来かつ作業員への周知・認識が出来る対策を行なった。

～消石灰・ラバーコーンによる通路等の明確化～
作業通路と安全通路の境界に消石灰でラインを引き、ラバーコーンで区切ることにより作業通路と安全通路の明確化を図り重機車両と作業員の接触事故防止に努めた。
またダンプ走路も都度変わる為、矢印（消石灰）で誘導し事故防止に努めた。
消石灰による誘導表示が好評で隣接業者現場でも採用となり他の現場でも実施された。



横断歩道設置



安全通路設置



場内速度制限対策
技術提案事項
施工時の安全対策
場内制限速度 10km/h以内



工事用道路と交差する市道は一般車両を優先とし工事用車両への一時停止励行と目視による左右確認の実施。



止まれ表示



地下埋設物（仮設管）箇所のマーキング